

## ICT活用による業務の効率化

中核校	芦別市立芦別小学校	指定校	芦別市立上芦別小学校、芦別市立芦別中学校 芦別市立啓成中学校
-----	-----------	-----	-----------------------------------

### 実践前の状況

- ・ ICTや校務支援システムのより効果的な活用について、実践例が少なかった。
- ・ ICTや校務支援システムに関する課題を解決するのに時間がかかっていた。

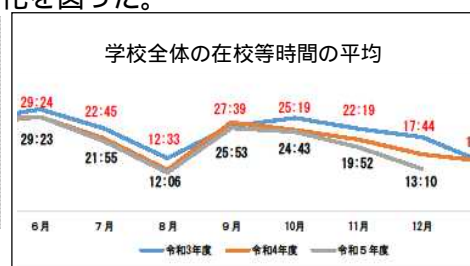
### 実践の概要

統合型校務支援システムの活用による業務の効率化

- ・ 統合型校務支援システムを活用し、以下の業務について効率化を図った。

#### 具体的な実践の一部

- ・ 指導要録や通知表、出席簿、児童名簿等の作成
- ・ 連絡掲示板の活用による会議・打合せ時間の短縮
- ・ 学校日誌の作成と保存
- ・ 会議・打合せ等における資料のペーパーレス化
- ・ メールを活用による市内小・中学校教員の情報共有



加配事務職員による市内全校への巡回指導

- ・ 加配事務職員が市内全校を巡回し、ICTや統合型校務支援システムの活用に関する対応を行い、各学校の取組を支援するとともに、課題解決を図った。
- ・ 加配事務職員が市内全校を巡回したことにより、業者による解決を待つのではなく、課題をタイムリーに解決し、ICT活用に関する充実を図った。
- ・ 市内各学校の事務職員が、定期的に集まって打合せを行う機会を設定したいと要望し、その実現に向けて連絡調整を行った。

【勤務状況を視覚化した資料の一部】

### 実践の充実に向けた取組の工夫

#### 〔校長の取組〕

- ・ 統合型校務支援システムの導入などによって業務負担の軽減が図られたことについては、視覚化して効果を実感できるようにした。
- ・ 加配事務職員からの要望が実現可能となるよう、市教育委員会や校長会との調整を図った。

#### 〔加配事務職員の取組〕

- ・ 市内全校を巡回し、ICTや統合型校務支援システムの活用方法について、直接、教職員と話しながら説明・相談するなど、理解が深まるように工夫した。
- ・ すぐに解決できない課題の解決方法については、市の指定業者や発売元に聞くなどして、各学校の負担が軽減されるように工夫した。
- ・ 保護者とのやり取りが必要な各種アンケートなどについては、Google フォームを活用するなど、各学校の負担が軽減されるように工夫した。

成果（ ）と今後の課題（ ）

学校関係者評価において、「子どもが学校生活を楽しみと思える環境を整え、教職員の負担を軽減する努力が見られる。」という評価があった。

学校評価で「タブレットをもっと使ってみたい」と肯定的に回答した児童の割合について、目標を達成できなかったことから、ICTを効果的に活用した授業改善を推進する必要がある。(R5前期：81.5% R5後期：73.2%)